



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社
コード番号 1994 URL <https://www.t-cw.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理部長
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 高橋 武治
(氏名) 市川 尚
TEL 03-3271-1711
配当支払開始予定日 2023年9月7日

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	3,773	6.5	236	208.2	285	142.4	168	79.2
2022年12月期第2四半期	3,541	△56.7	76	△94.7	117	△92.2	94	△90.7

(注)包括利益 2023年12月期第2四半期 175百万円 (83.9%) 2022年12月期第2四半期 95百万円 (△90.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	19.87	—
2022年12月期第2四半期	10.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第2四半期	12,756	10,696	83.9	1,275.78
2022年12月期	12,324	10,671	86.6	1,252.55

(参考)自己資本 2023年12月期第2四半期 10,696百万円 2022年12月期 10,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2023年12月期	—	10.00			
2023年12月期(予想)			—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,125	△5.4	18	△89.4	79	△68.2	43	△71.6	5.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	9,553,011 株	2022年12月期	9,553,011 株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	1,168,464 株	2022年12月期	1,032,964 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	8,477,929 株	2022年12月期2Q	8,575,147 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付け変更に伴う社会経済活動の正常化やインバウンド需要の回復等により、一部業種においては緩やかな景気回復の動きが見られたものの、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高騰や、円安による物価上昇等の影響が続いており、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような状況の下、当建設業界におきましては、ゼネコンは受注時採算の低いところに資材高、人手不足によるコストアップが重なり、収益が低下傾向にあります。PCカーテンウォール業界においても、受注単価の低下と原材料費の上昇の影響があり、さらに、工場の稼働率はアップダウンが激しくなっており、安定運営が難しくなっています。そうした中、当社はオペレーションの効率化や精算時の交渉を丁寧に、収益の改善に努めています。

プールを手掛けるアクア事業では、引き続き主力である学校やスポーツクラブに加え、老朽化したプール施設のリニューアル工事等の拡大を図っております。インバウンド復活でホテルのプールが増加傾向にあること、比較的社員年齢が若いことや、PC事業の人材の協力を得ることで、業界内競争力が増していること、実績が認められて引き合いが増えていること、などから、少しずつ受注/売上が増えてきています。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社企業グループの業績は売上高37億73百万円(前年同四半期比6.5%増)、営業利益2億36百万円(前年同四半期比208.2%増)、経常利益2億85百万円(前年同四半期比142.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億68百万円(前年同四半期比79.2%増)となりました。なお、受注高は43億28百万円(前年同四半期比30.4%増)、受注残高は87億92百万円(前連結会計年度比6.8%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①PCカーテンウォール事業

当セグメントの売上高は33億94百万円(前年同四半期比4.1%増)、セグメント利益は2億2百万円(前年同四半期比225.1%増)となりました。なお、売上のトレンドに季節性はありません。

②アクア事業

当セグメントの売上高は3億47百万円(前年同四半期比40.7%増)、セグメント利益は33百万円(前年同四半期比136.9%増)となりました。

③その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と不動産賃貸事業であります。

当セグメントの売上高は31百万円(前年同四半期比5.3%減)、セグメント損失は0百万円(前年同四半期は0百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は127億56百万円と前連結会計年度末と比較して4億31百万円の増加となりました。これは主に、現金預金が8億45百万円、受取手形・完成工事未収入金等が1億32百万円及び未成工事支出金が1億10百万円増加し、電子記録債権が7億4百万円減少したことによるものであります。

②負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は20億59百万円と前連結会計年度末と比較して4億6百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が1億74百万円、その他の引当金が77百万円及び長期借入金が1億12百万円増加したことによるものであります。

③純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は106億96百万円と前連結会計年度末と比較して25百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1億68百万円増加したことと、配当金を85百万円支払ったことにより83百万円増加しました。また、自己株式が65百万円増加したことによるものであります。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期と比較して3億2百万円増加して23億15百万円(前年同四半期比15.0%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に、減価償却費1億57百万円、売上債権の減少額5億72百万円及び税金等調整前四半期純利益2億85百万円により9億49百万円の資金増加(前年同四半期は7億62百万円の資金減少)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に有形固定資産の取得による支出2億40百万円により2億38百万円の資金減少(前年同四半期は1億46百万円の資金減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に長期借入による収入2億40百万円及び長期借入金の返済による支出1億14百万円により1億34百万円の資金増加(前年同四半期は1億92百万円の資金減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月10日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,470,755	2,315,865
受取手形・完成工事未収入金等	3,685,743	3,817,953
電子記録債権	1,332,212	627,293
未成工事支出金	250,470	361,310
その他の棚卸資産	109,536	123,261
その他	99,757	72,433
貸倒引当金	△2,125	△1,375
流動資産合計	6,946,352	7,316,742
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	587,566	562,765
土地	1,757,455	1,757,455
その他（純額）	800,903	863,546
有形固定資産合計	3,145,926	3,183,767
無形固定資産	90,814	82,696
投資その他の資産		
投資有価証券	184,455	195,251
保険積立金	1,126,072	1,124,408
投資不動産（純額）	35,725	35,603
退職給付に係る資産	115,827	139,384
その他	684,861	683,512
貸倒引当金	△5,277	△5,307
投資その他の資産合計	2,141,664	2,172,853
固定資産合計	5,378,406	5,439,318
資産合計	12,324,758	12,756,060
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	425,356	425,693
電子記録債務	249,894	248,708
短期借入金	344,000	518,000
未払法人税等	4,098	67,264
未成工事受入金	12,166	35,977
賞与引当金	50,222	48,704
その他の引当金	22,835	100,445
その他	214,313	154,859
流動負債合計	1,322,886	1,599,653
固定負債		
長期借入金	102,000	214,000
役員退職慰労引当金	138,123	144,836
その他	89,977	100,713
固定負債合計	330,100	459,550
負債合計	1,652,987	2,059,203

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	7,629,277	7,712,544
自己株式	△351,113	△416,354
株主資本合計	10,661,527	10,679,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,243	17,303
その他の包括利益累計額合計	10,243	17,303
純資産合計	10,671,771	10,696,857
負債純資産合計	12,324,758	12,756,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高		
完成工事高	3,541,836	3,773,246
売上原価		
完成工事原価	3,025,618	3,107,326
売上総利益		
完成工事総利益	516,218	665,920
販売費及び一般管理費	439,537	429,598
営業利益	76,680	236,322
営業外収益		
受取利息	176	158
受取配当金	1,200	1,836
投資不動産賃貸料	1,092	1,186
受取家賃	5,130	5,086
鉄屑売却収入	27,553	33,334
貸倒引当金戻入額	640	720
その他	8,792	11,535
営業外収益合計	44,585	53,858
営業外費用		
支払利息	1,398	1,669
不動産賃貸費用	482	482
リース解約損	692	-
その他	761	2,117
営業外費用合計	3,334	4,269
経常利益	117,932	285,910
特別損失		
固定資産除却損	3,236	795
特別損失合計	3,236	795
税金等調整前四半期純利益	114,695	285,114
法人税、住民税及び事業税	4,334	67,545
過年度法人税等	-	40,950
法人税等調整額	16,358	8,150
法人税等合計	20,692	116,647
四半期純利益	94,002	168,467
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,002	168,467

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	94,002	168,467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,440	7,060
その他の包括利益合計	1,440	7,060
四半期包括利益	95,443	175,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,443	175,528

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	114,695	285,114
減価償却費	133,541	157,373
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△640	△720
固定資産除却損	1,233	795
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△81,533	6,713
引当金の増減額 (△は減少)	9,095	76,092
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	14,267	△23,557
受取利息及び受取配当金	△1,376	△1,994
支払利息	1,398	1,669
売上債権の増減額 (△は増加)	473,867	572,710
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△155,354	△110,839
その他の棚卸資産の増減額 (△は増加)	△17,519	△13,724
保険積立金の増減額 (△は増加)	△20,504	1,663
その他の資産の増減額 (△は増加)	△24,060	26,248
仕入債務の増減額 (△は減少)	100,823	△848
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△11,037	23,811
その他の負債の増減額 (△は減少)	△579,287	△6,359
小計	△42,390	994,147
利息及び配当金の受取額	1,544	2,154
利息の支払額	△1,444	△1,563
法人税等の支払額	△720,489	△45,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	△762,779	949,407
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△140,901	△240,685
貸付金の回収による収入	2,450	2,250
その他	△8,023	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,474	△238,435
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	160,000
長期借入れによる収入	-	240,000
長期借入金の返済による支出	△105,000	△114,000
建設協力金の返済による支出	△1,260	△1,260
自己株式の取得による支出	-	△65,241
配当金の支払額	△85,878	△85,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△192,138	134,137
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,101,392	845,109
現金及び現金同等物の期首残高	3,114,744	1,470,755
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,013,351	2,315,865

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,261,763	246,743	3,508,507	33,329	3,541,836	—	3,541,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,261,763	246,743	3,508,507	33,329	3,541,836	—	3,541,836
セグメント利益	62,364	14,184	76,549	131	76,680	—	76,680

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,394,515	347,152	3,741,667	31,578	3,773,246	—	3,773,246
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,394,515	347,152	3,741,667	31,578	3,773,246	—	3,773,246
セグメント利益又はセグメント損失(△)	202,719	33,609	236,329	△7	236,322	—	236,322

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。